

	横浜市音楽研究会 研究部 器楽 部会記録				
日 時	平成30年10月31日(水)				
部会名	研究部 器楽部会			主任	吉田 百合子
参加数	12名	司会	梅田 佳美	記録	加藤 紫乃
研究 内 容	研究部 主題 子どもの意識の流れを生かし、音楽能力の高まりを目指した授業の在り方 器楽部会テーマ 「子どもが楽曲の特徴や面白さに気づき、その楽曲への思いを大切にして、豊かな表現をめざす器楽活動」 ○研究授業指導案検討 馬場小学校 山本 樹子先生 主題… 「全体の響きを聴いて演奏しよう」 中心教材… 「彼こそが海賊」 映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」のテーマ曲 第1時 原曲を聴いて、楽曲の特徴やよさをとらえ、主な旋律を演奏する。 第2時 主な旋律や副次的な旋律、和音伴奏、リズム伴奏の特徴をとらえ、拍の流れに乗って演奏する。 第3時 パート同士の関わりをとらえ、パートの役割を意識して演奏する。 第4時 全体の響きを聴きながら、曲想に合った演奏の仕方を工夫して演奏する。 第5時 全体の響きを聴きながら、曲想を生かした演奏をする。 ○「G」「H」「I」で楽譜が変化しているのはどこだろうか。 楽曲の雰囲気の違いを楽譜から読み取る→実際に出席している先生方で合奏を行った。 △拍のとり方はどうするか。カウントは2拍？3拍？…8分の6拍子は2拍で振る。 △スラーの演奏の仕方を考える。「鉄琴のペダルやたたき方を工夫しよう」などにしないと曲想が付かない。 ○「H」…スラーの息の入れ方を工夫できる。(SR) 「I」…アクセントや休符に気を付ける。 △全体の合奏では、指揮が必ずたたないとカウントが取れない。 →最後は2つのグループの演奏を聴かせ合う。場の設定に工夫する。 <耳を働かせる> ・ワークシートは改善の余地あり。全体の響き…楽器の役割を認識し、合奏する喜びを感じる。 ・拍の流れ(体の動き)を感じることで「H」と「I」を比較することは大事。 ・「I」の場面は映画で戦う場面、それを想像する。 ・「I」と「J」の違いを感じる。→「全体の響きを感じる」の主題 ※参加した先生方から やはりこの曲は、5年生が5時間でやる勉強ではないかもしれない。 5年生がつけるべき学習を身に付けるべき。 時間の流れや場の設定を考え、本時展開を考える。				